



インターネットの「今」を切り取る情報を、各種団体からのニュースや資料を中心に紹介します。

JPドメイン名の累計登録数が50万件を突破

JPRS ☞ <http://jprs.co.jp/>

JPRSの発表 [URL01](#) によると、JPドメイン名の累計登録数が、2003年1月1日の調査で50万件を突破し、50万2,906件となった。この登録数は、世界で243個あるccTLD(国別トップレベルドメイン)の中では第8位、また、アジアでは韓国とほぼ同数で第1位をあらそう数字となる。

JPドメイン名の登録数の内訳は、表に示すように「co.jp」「ne.jp」などの属性型・地域型JPドメイン名が29万7,413件、「

jp」「日本語ドメイン名.jp」などの汎用JPドメイン名が20万5,493件となった。中でも、属性型・地域型JPドメイン名の属性の1つ、一般企業を表す「co.jp」ドメイン名は23万9,807件と順調に増加している。また、汎用JPドメイン名は2001年2月の登録開始から、2年を経ずに20万件に到達したことになる。

汎用JPドメイン名の累計登録数が項目として分けられた2001年4月1日の調査からの変化を見ると、属性型・地域型JPドメイン名が24万9,475件から29万7,413

件へと約4万8千件の増加に対して、汎用JPドメイン名は5万2,217件から20万5,493件へと15万件以上の増加となっており、汎用JPドメイン名の急激な利用増加が顕著である。

ng-tf (Next Generation Task Force) 発足

JPNIC ☞ <http://www.nic.ad.jp/>

次代のインターネットを担う人材の育成を目的としたプロジェクトNext Generation Task Forceのスタートが昨年の12月13日に発表された [URL02](#)。

プロジェクトの目的としては、インターネット技術と社会の接点におけるさまざまな課題の解決に携わることのできる人材の発掘/育成を行い、インターネットの円滑な運営を支えることにあり、人材の素養としては、以下の5つの要件を設けている。

- ・インターネットの円滑な運用を支える
- ・インターネットを巡る技術的問題と社会的問題の両方に理解がある
- ・次世代インターネットの発展に寄与できる
- ・国際的な場でリーダーシップが取れる

・多様なバックグラウンドを持った人と協調できる

当面の具体策としては、以下のようなものが挙げられている。

- ・チュートリアル開催
- ・国際交流活動
- ・合宿開催
- ・メーリングリストの運営
- ・メールマガジンの発行
- ・インターン・ボランティアの斡旋
- ・新人材発掘のための広報活動

ng-tfは、2003年に第1回の研究会を開き、その後はAPNG CampやInternet Week実行委員会、Network+Interop実行委員会、各大学などとの協調体制で活動を進めていく予定。

STRINGPREPがRFC化

JPNIC ☞ <http://www.nic.ad.jp/>

2002年12月25日、JPNICが進める国際化ドメイン名(IDN)標準化の成果の1つの「STRINGPREP」 [URL03](#) (Preparation of Internationalized Strings)がIETFより「RFC 3454」として発行された [URL04](#)。

STRINGPREPは、IDNプロトコルとなる3つのドキュメントのうち、国際化文字列の正規化方式を規定する「NAMEPREP」の枠組みとなるもの。これにより、国際化ドメイン名の普及に弾みがつくと思われる。

残るIDNAなども、2002年10月24日時点ですでに「RFC-Editor/IANA Registration Coordination」の状態になっている [URL05](#)。

[URL01](http://jpinfo.jp/stats/) <http://jpinfo.jp/stats/>

[URL02](http://www.nic.ad.jp/ja/ng-tf/) <http://www.nic.ad.jp/ja/ng-tf/>

[URL03](http://www.nic.ad.jp/ja/tech/glos-kz.html#03-STRINGPREP) <http://www.nic.ad.jp/ja/tech/glos-kz.html#03-STRINGPREP>

[URL04](http://www.ietf.org/rfc/rfc3454.txt) <http://www.ietf.org/rfc/rfc3454.txt>

[URL05](http://www.rfc-editor.org/queue.html) <http://www.rfc-editor.org/queue.html>

JPドメイン名の累計登録数(2003/01/01現在、総合計50万2,906)

属性型・地域型JPドメイン名(合計:29万7,413)		
ドメイン	解説	累計登録数
JP	属性なし	1
AD	JPNIC会員	322
AC	大学系教育機関	2,883
CO	一般企業	239,807
GO	政府機関	783
OR	会社以外の団体	16,408
NE	ネットワークサービス	18,437
GR	任意団体	10,446
ED	小・中・高校など主に18歳未満を対象とする各種学校	4,027
LG	地方公共団体	47
地域型	都道府県名、政令指定都市名、市町村名	4,252

汎用JPドメイン名(合計:20万5,493)		
ドメイン	解説	累計登録数
ASCII	ASCII(英数字)によるもの	153,949
日本語	日本語の文字列を含むもの	51,544



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp